



ぼらんていあ通信

7月号
通巻 No.476

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2021年7月21日
連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内
TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: http://sagamiva.info/



新年度がスタートしています！



ボランティア協会は新しい理事さんを迎え、コロナ禍の中工夫して活動しています。
会長の高橋功さん、副会長の加藤修さん、恒藤玲子さんらに、理事としての抱負などを伺いました。

2021年度も盛りだくさん！



会長 高橋 功



今年こそは超高齢者が退陣すべきだと思っ
ていましたが、退任予定者が任期満了の方と自己都合の方4人となり、私の退任のチャンスが無くなりました。残った以上は頑張りたいと思いますので宜しくお願いいたします。今年
は「コロナ禍」で世の中翻弄されていますが、早くワクチンの接種が済み落ち着いていく事を願っています。

事業については、総会の事業計画で発表しました。

まず、『HC事業』については入会希望の方についてのボランティアが足りないという理由でお断りしていますが、新車を購入したことで移動率を上げるためにも何か知恵を絞って利用者の課題に対応していきたい。

『傾聴活動』はこの1ヶ月、5件の新規利用者の依頼が来ていますが、ニーズが南区に偏っておりボランティア線りに苦労して

います。

この様にHC、傾聴でもボランティアの増員を図る必要があります。

『講座検討委員会』ではボランティア増強のための講座を検討しています。また、HC運転ボラと傾聴ボラだけでは集客に問題があり、相模原市で進めているSDGsによる持続可能な相模原市の基本構想とボランティア団体の活動事例やボラ協の活動事例などをテーマに講座を開きたいと計画しています。定期的には「コロナ禍もあり来年3月になる予定です」とちらちらしてもボラ協会委員の高齢化が進んでおり新しい会員の増員が必須です。

広報の『ぼらんていあ通信の情報発信』『ホームページ』『DVD制作』は順調に進行しています。

最後に、去年は休眠状態だった『総会企画委員会』を再開させたい。事業計画でも財政ひっ迫状態といいますが、現在、事業準備積立金は約750万円です。2021年度の予算は100万円の取り崩しとなります。このまま続くと7年しかボラ協は持ちません。この委員会では発足の原案に立ち返りボラ協の役割は何が市社協の協働や支えの活動はこれまでにいかがな検討していきたい。この10年は設立40年となります。この10年の歩みをまとめたいと思います。検討する問題は沢山ありますが皆が元気にこの難関を乗り切って参りましょう。

アフターコロナに向けたボラ協の改善

副会長 加藤 修



2年前より理事となり今期から副会長を務めることになりました。加藤修です。

前期まで副会長を務めてこられた小野・杉本両氏が理事を退任され、その後を引き継ぐ形となりますが精一杯務めさせていただきます。

「コロナウィルスの終息が見通せない中、ボランティア協会の主要活動について感染対策を徹底して実施しておりますが、ボランティア養成講座を開講できないなど影響は今も続いている状況です。ボランティア養成講座はボランティア協会の根幹をなす重要な活動であるとともに、ハンディキャップ活動・傾聴活動のモデル・関心をもった方への説明の機会となっています。

ボランティア協会の各活動へ参加いただける方を増やすためにも、養成講座の再開や現在運用しているホームページの改善やフェイスブックなどのSNSツールの活用をすすめること、外部への発信強化を図って参ります。

次世代につながる社会を！

副会長 恒藤玲子



今年度から理事として皆様とともに活動させていただきます。恒藤玲子です。



1999の年にボランティア協会に入会し、以来広報委員として活動しています。

協会に入会したきっかけは、ぼらんていあ通信の記事をブロードで打ち込んだり欲しいと頼まれ、そむなら自分でもってきよめるとお引き受けし、この間に20数年が経っています。

広報活動というのは、市内で活動していらっしゃるグループやイベントなどの取材に出向き、いろいろ話をさせていただけ機会に恵まれます。そして、教わる人が多く大変勉強になっていきますので、20数年も続いているのだと思います。ちなみに広報委員には、30年以上も活動していらっしゃる方もいます。

今後は理事として、まずは、広報委員会が持っているネットワークを活用し、市内で活躍していらっしゃる他団体やネットワークの構築ができればなと思っています。笑顔があふれ次世代に引き継いでいける社会になるようお手伝いしていきます。と思っていますので、皆様も、ご協力をよろしくお願いいたします。

*他の理事さんからのコメントは、次号に掲載させていただきます。



*また、6年間理事として活動していただいた小野さん、杉本さんからのコメントをページに掲載させていただきます。

8月の記念日は？

小倉義男

8月21日、献血の日です。
1964(昭和39)年8月21日にそれまでの売血制度を廃止し、全ての輸血用血液を献血によって確保することが閣議決定されたことにちなんで制定された記念日。

今では、輸血では、全てを献血で確保する体制が確立されておりますが、コロナ禍の中献血者が減っているのが課題となっているそうです。困りましたね。f_~;

小倉画



夏の果物クイズです。

①モモ、サクランボ、ビワ、ナシ、リンゴは、すべてある花の仲間です。その花は何でしょうか。

②ユリ ③バラ ④スミレ ⑤キウ

⑥ブドウの粒は、一般的には、房のどの部分になっている粒が甘くなるかわかりますが、その部分はいくつでしょうか。

⑦房の内側に隠れている部分 ⑧房の上の枝に近い部分 ⑨房の下の先端の部分 ⑩房の真ん中あたりの部分

⑪マンゴーの花は、いつも特徴的な香りを発しますが、それはどんな香りでしょうか。

⑫マンゴーの香りの種類 ⑬腐ったバナナの香りの種類 ⑭ものが焦げたバナナの香りの種類 ⑮海や潮風のバナナの香りの種類

戸塚前会長を偲んで

市社会福祉協議会の戸塚英明前会長が2021年(令和3年)6月10日に逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

私が戸塚会長に初めてお会いしたのは、市の教育局長から市社協会長に就任された2009年(平成21年)にボランティア協会との協働事業に関する打ち合わせであったと思います。その時、柔和な方で頼りになる方だと思いました。その後いろいろな場でお会いする機会をかけたいただきました。

ボランティア協会の季刊誌「わくわくボランティア」の『人物シリーズ』にも登場していただきました。その中で、「そば打ちクラブ」を設立されたり、奥様と旅行を楽しまれたり、さらに好きな読書から自分でも「もう一つの玉手箱」という文章を書かれたときに、書は人を力づけることを発見され、これから書いてみたいと言われていました。多分いろいろな書かむことと思います。が読ませていただいても出来ず残念です。

戸塚前会長はいろいろな面で「指導」を受けただけから感謝しております。早すぎた逝去ではありましたが戸塚前会長の「福祉を心からお祈り申し上げます。
相模原ボランティア協会会長 高橋 功

新しく市社会福祉協議会の会長に就任された
針野晋史氏からボランティア協会に挨拶をいただいた喜びです。

4ページに掲載させていただきます。

ほかふれフェスタ参加グループ訪問記

ホップ



ヒップホップやストリートダンスを

楽しむサークル

“S.N.D.F.”を訪ねて

ボランティア協会でも

お馴染みのみなさん！



7月8日(木)最寄駅は相模線原当麻駅になる麻溝公民館で、ダンススクール“S.N.D.F.”の練習にお邪魔した。約束の夕方6時を少し回っていたので、すでに元氣一杯に踊っていた。一汗かいたところまで中断してインタビューに応じた。

まず名前の由来を伺って、代表の倉増静さんの愛称「静ねえ」の頭文字のSNDを、後はダンスとファミリーの頭文字をとって“S.N.D.F.”と名づけたそうだ。回えはそうなのかと納得するけれど、それにしてもニックネームから伺うとは、すごいユニークなネーミングだと感心！

結成18年になり、麻溝と陽光台の公民館を中心に倉増さんを含め5人の指導者のもと、年齢は幅広く3歳から大人までで、今は16グループある。先生の専門ジャンルによって、ヒップホップダンス、ジャズダンス、ブレイクダンス、Kポップ、フリースタイルなどとクラス分けしている。



笑顔が素敵な代表の倉増静さん

今日はフリースタイルの初級クラスで、小学5年生が4人、中学1年生が一人という構成だ。



コロナ禍で公民館が8時までしか使えないため、練習が十分できないのが頭の痛い所。指導者でもある倉

増さんが自然と下級生の面倒をみるようになる。下級生も上級生を慕って学年を超えた交流が生まれている。

家に帰ると疲れて宿題ができないなんてことはありませんかと聞いてみると、みんないっせいに「そんなことはない！」と口をそろえて否定。先に済ませるか、帰ってからきちんとしていくことで、愚問でしたね！

「お母さんに連れてこられて、友達に誘われた」が多かった。学校で嫌なことがあるても踊ればたちまち吹っ飛んでしまうし、友達が増えたというのが共通の感想だった。

倉増さんに指導に際して心がけていることを尋ねると、「楽しんでるのがモットーですね。子どもたちが毎回楽しんでる姿を見て、逆に元気を貰っているんですよ。自然と浮かぶ笑顔を大事にしています」と話される眼差しがとても優しく魅力的な方だと感じた。

生徒さんたちにもダンスをするきっかけを聞くと、

増さんの娘さんと息子さんが、たまに勉強をまわっていらした。伺ったよつすから、ダンスファミリーの名の通り、メンバー全員が家族みたいなまことにアットホームな雰囲気こそが長く続けてこられた秘訣なのではないか。これからのますますの活躍に大いに期待したい！



(恒藤・山崎)

《耳より情報》
SNDFダンス発表会
10月31日(日)
午後2時～
あじさい会館で

*S.N.D.F

代表 倉増 静
メール sndf-731@ezweb.ne.jp
HP http://sndf10.jimdo.com/

～ SNDFレッスン情報 ～

レッスン代 各クラス共通(90分月3回)
⇒まん延防止期間中1レッスン50分
月謝 3000円(入会金無料)

*元氣なシニア向けにはシニアストレッチクラスが！
火曜日15:30～16:30(陽光台公民館)
⇒まん延防止策期間中は15:00～15:50
木曜日15:30～16:30(麻溝公民館)
⇒まん延防止策期間中は15:30～16:20

理事会報告

7月10日(土) 定例理事会(理事の名出席)

一. 報告・連絡事項

- ・ 市社協の新任会長に笹野章央氏が選任された。
- ・ 相模原市社会福祉功労賞および、市社協社会福祉活動推進功労賞の推薦者を確認した。

二. 委員会報告

◆ 広報委員会

- ・ ぼらんていあ通信の発行は、24日午前印刷、24日午後発送。

◆ ハンディキャップ委員会

- ・ 新規ボランティアメンバーの方の受講予定などを確認した。

◆ 事務局委員会

- ・ 運転ボランティアの動向について確認した。

◆ 講座検討委員会

- ・ 今年度の講座開催にむけ、内容について詳細な検討をした。

◆ 傾聴委員会

- ・ コロナ禍において注意しながら活動を再開したが、ボランティアが不足している。人材確保について話し合った。

◆ DVD制作実行委員会

- ・ 作成した協会紹介、HC活動のヒアロを役立てる方法として、「よみがみはら地域ポータルサイト」の活用を考慮する。

◆ その他

- ・ ほかに実行委員会から進捗状況について報告があった。

三. 審議事項

- ・ 高橋会長から今後のボラ協のあり方や、地域ボランティア団体とのネットワークをどうするかなど課題の提案があり、総務企画委員会への諮問を確認した。

四. その他

- ・ 協会創立40周年にむけ、記念誌発行の確認、検討をした。

次回理事会 8月14日(土) 10時より



相模原ボランティア協会 8月の予定

日	時間	内容
3(火)	14:00~	DVD制作実行委員会
9(月)	10:00~	HC委員会
14(土)	10:00~	定例理事会
17(火)	13:00~	広報委員会・ぼら通部会
21(土)	13:00~	事務局委員会
23(月)	14:00~	講座検討委員会
24(火)	10:00~	ぼら通8月号印刷
	13:00~	ぼら通8月号発行
26(木)	10:30~	傾聴委員会



「あい」さんで働いていらっしゃる皆さんの作品です。

相模原市社会福祉協議会
笹野 章央会長から就任のご
あいさつをいただきました。

相模原市社会福祉協議会 会長 就任あいさつ

(任期：令和3年6月28日~令和5年6月予定)

ボランティア協会の皆様には、日頃から本会の活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和3年6月28日から会長に就任いたしました。微力ではございますが、ボランティア・市民活動への参加の機会をより一層推進し、誰もが住みやすい福祉のまちづくりに向け、力を尽くしてまいります。

今後とも皆様のご協力の程よろしくお願いいたします。

会長 笹野 章央



来月は笹野会長に、直接お会いし、いろいろとお話を伺う予定です。お楽しみに!



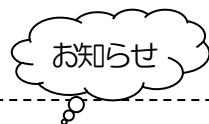
ボランティアさん募集！ 施設利用者の活動サポート

- 内 容 施設利用者（身体・知的・精神障がいのある方）との交流を楽しみながら、布製品製作をサポート（藍染め・マスク作り等）
※どなたでも参加可能ですが、特にミシンの扱いが得意な方、大歓迎です！
- 日 時 月曜日～金曜日で、①②のうち都合の良い時間帯
①午前10時～正午 ②午後1時～3時 一日あたり1～2名募集
※年末年始や祝日の場合は、お休みです。
- 場 所 一から百まで堂・障がい者の日常生活支援（中央区相生4-13-5）
- 持 物 染物作業等もあるため、汚れてもよい服装



連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042 (759) 7982
相模原市社協 中央ボランティアセンター : 電話 042 (786) 6181
FAX 042 (786) 6182
メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



あじさい会館の改修工事が始まっています

期間は

2021年7月～2022年2月頃（予定）

作業は、原則として、月～金曜日の午前8時～午後6時までだそうですが、正面玄関車寄せへの車の停車ができなくなっています。

お気をつけください。



山口尚美画

《今月のイラスト
…プールの季節になりました♪》

編集後記

日本でオリンピック2020が開催されます。コロナの影響で競技会場が無観客になる所があり、とても残念です。

特にスポーツの世界は選手と応援が一体となり盛り上がるのでとても残念です。

でもアメリカの大リーグのオースターにエンゼルスの大谷翔平君が出場して二刀流を披露。日本人誰もなしえなかったことをプレーする選手として名を残しました。

(吉)

ご寄付をありがとうございました

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

<6月の寄付者>

2名の方からご寄付をいただきました。

<6月の寄付金>

総額 40,000 円でした。

